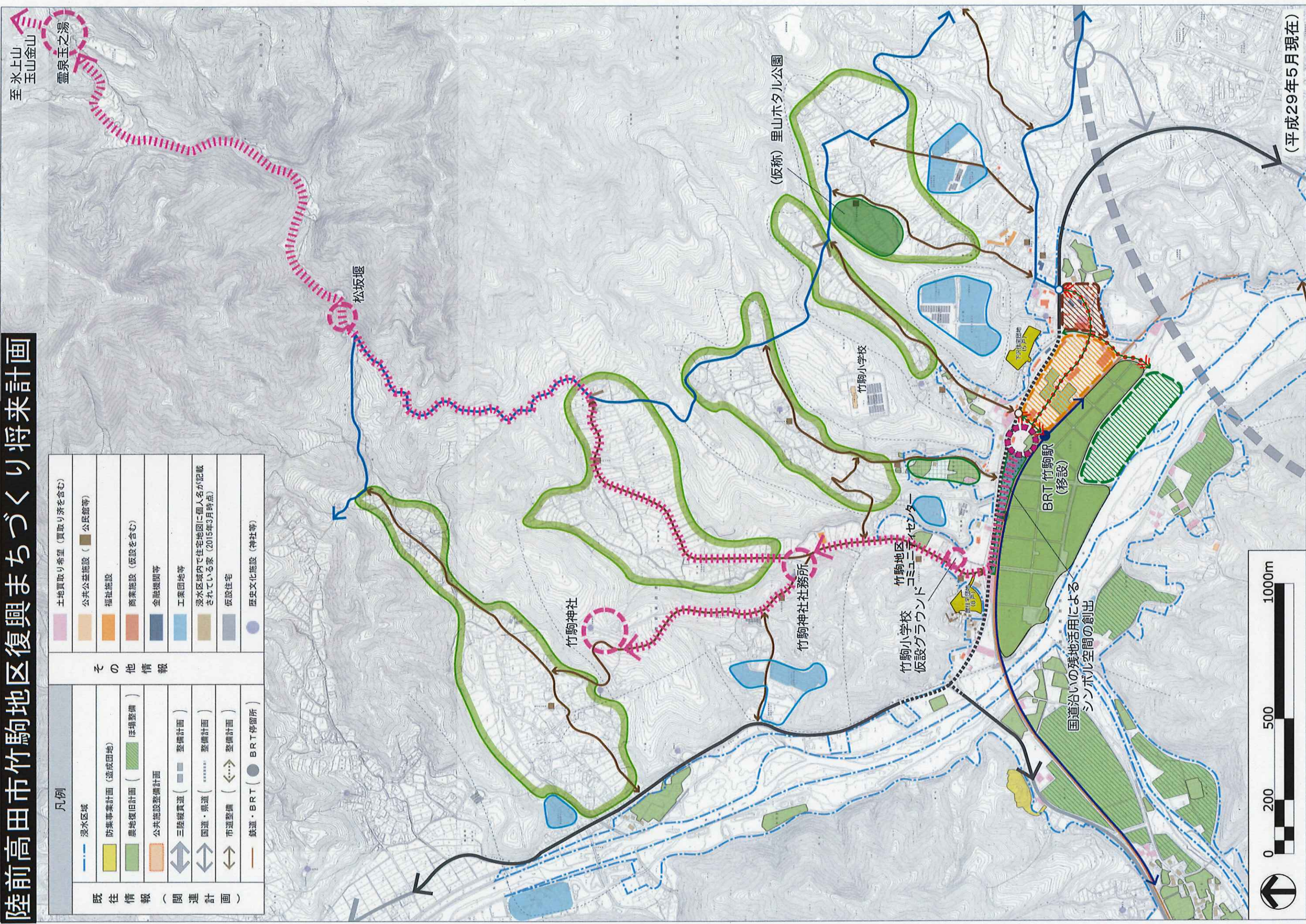


陸前高田市竹駒地区復興まちづくり将来計画

凡例	
既往情報 (関連計画)	浸水区域
防業事業計画 (造成田地)	土地買取り希望 (買取り済を含む)
農地復旧計画 (ほ場整備)	公共公益施設 (公民館等)
公共施設整備計画	福祉施設
三陸縦貫道 (整備計画)	商業施設 (仮設を含む)
国道・県道 (整備計画)	金融機関等
市道整備 (整備計画)	工業団地等
鉄道・BRT (BRT停留所)	浸水区域内で住宅地図に個人名が記載されている家 (2015年3月時点)
	仮設住宅
	歴史文化施設 (神社等)
その他情報	



(平成29年5月現在)

竹駒地区復興まちづくり将来計画
【産業の再生・復興】

分野	取り組み項目等	内容	備考	
山を活かした産業の振興	林業の再生・復興	①森林管理、新たな森づくりを進めるための体制の整備 ②作業道の修復整備	牧野採草地農業協同組合の組織強化（個人所有林の管理受託を含めて）	
	森林資源を活かした地場産業づくり	山の資源を活用した起業化（牧野採草地農業協同組合所有の組合林の活用）		
農業の再生・復興	農業振興ゾーンの形成	①農地の復旧及び振興 ②組織化・法人化による営農継続力の強化		
	新しい農業振興の取り組み	農業活性化拠点の形成	①産直施設設置による活性化（定期的なイベントの開催など） ②後継者不足解消のための新規就農者の受け入れ拠点（相談窓口・事務機能） （新規就農者への支援、情報発信、実験農地の活用、空き家活用等の活動）	観光振興拠点との複合化
		新規特産品の展開	6次産業化につながる農産品や加工品の育成（ソバ、ブルーベリー、地域のおばあちゃんの手作り惣菜やお菓子など）	実験農地の活用を含む （多様な取り組みを地域全体の休耕・荒廃農地を対象に行う。）
		荒廃農地を活用した取り組み	①荒廃農地所有者の意向把握及び集約化を含む活用方策・体制の検討 ②新規就農者の誘致・育成支援の仕組みづくり ③市民農園としての貸出	
		沢筋の農村景観を活かしたグリーンツーリズムの推進	①農村の暮らしや農作業の体験を提供できる人材の発掘・育成 ②農村の暮らし体験プログラムの開発・民泊のためのリニューアル支援 ③沢筋の傾斜を活かした農村景観の維持・向上	沢筋の農村の景観と暮らしの魅力の再認識、再構築の必要性 市全体のグリーンツーリズム活動との連携
営農環境の向上	①農業用水の安定的な確保（生活排水流入防止等） ②農地内作業道の復旧・整備			
地区内工業地の既存企業における地元雇用促進		①既存企業の業務拡大・業態多様化への支援		
地域の歴史・文化・自然資源の継承・活用とそれらのネットワーク化による観光交流の推進	歴史・文化資源を繋ぐ観光振興ルートの確保	観光振興ルート（BRT竹駒駅～国道340号～竹駒神社社務所～竹駒神社～霊泉玉之湯～玉山金山～氷上山）のネットワーク化と道路環境整備（沿道修景・案内・誘導サイン等の充実）	BRT竹駒駅の移設	
	国道沿いの残地活用によるシンボル空間の創出	国道340号～産業拠点区間のシンボル空間化（玉山霊域塔・大鳥居・歩きやすい歩行者空間の整備・広場・植栽等）		
	観光振興ルートに併せた各施設・拠点の強化・創出	BRT竹駒駅と一体となった観光振興拠点を整備	①地域の観光情報を発信する機能を持った拠点の整備（発信を担う事務機能） ②ガイド機能や体験プログラム紹介・民泊あっせん機能（受付窓口・事務機能） ③山・川・海の地場産品・木工品等が集まる拠点（紹介・情報発信・販売等） ④産直施設及び食堂などを併設（農業活性化拠点との連携）	駅前の集約的な拠点施設（（仮称）竹駒観光センター）の整備
		憩いの場の創出	①観光客と地域住民が交流できる場の整備（イベントや祭り等が出来る広場） ②シンボリックな塔の設置（火の見やぐら等）	観光資源としての玉山金山・霊泉玉之湯・氷上山・気仙川の魅力を検討 （ジオパークの取り組みとの連携）
		歴史・文化資料館の整備	①玉山金山など地域の歴史・文化を後世に継承するための資料館の整備 ②気仙大工・左官の職人技能の伝承・育成の検討 ③体験プログラムの開発と支える人材の育成	
		既存施設の充実	①霊泉玉之湯を地域で支える取組の展開 ②氷上山の展望台、玉山金山跡、松坂堰など既存施設の改修整備 ③竹駒神社周辺の環境整備（松の養生・伐採） ④気仙川河川沿いの環境整備（遊歩道・桜並木など）	
各施設でのイベント・体験プログラムの展開	①玉山金山での砂金採り体験 ②霊泉玉之湯での料理教室（地元特産品と和ハーブ活用）や失われた味の復活 ③氷上山の眺望を活かした自然ウォーキングイベント ④竹駒神社例大祭の盛り上げや気仙三十三観音の広域連携の促進 ⑤気仙川の鮎などの水産品を活かしたイベント・体験プログラムの検討			

【暮らしの再生・復興】

分野	取り組み項目等		内容	備考
住宅機能の確保	防災集団移転住宅団地の整備		2 地区	下沢住宅団地（5戸） 館住宅団地（8戸）
十日市場地区の恒久的な地域生活拠点化の推進	地域生活拠点整備構想の策定 （竹駒・矢作・横田地区の生活拠点）		①抜本的な災害対策の検討（低地のかさ上げ・排水計画・避難路等） ②国道からの円滑なアクセスと駐車場の計画的な配置 ③多様な機能の複合的な拠点形成と快適な歩行者空間の整備 ④一体的な運営体制の確立（観光拠点を含む）	全市的な位置づけの必要性 観光拠点との一体的な形成
	商業サービス・文化交流ゾーン		①既存仮設店舗・業務施設の計画的な更新・恒久化の誘導 ②衣料品・飲食等の不足業種の新規誘致	買取用地の有効活用 集約化・交換分合等の工夫
	健康をテーマにした市民の健康増進ゾーンの形成		①文化拠点機能の誘導（文化活動やイベントの場の確保） ②子どもから高齢者までが楽しめる公園、広場の整備	
	スポーツ機能ゾーンの創出		①医療施設・介護・福祉施設の存続・誘致 ②健康促進遊具が設置された公園の整備 ③その他入浴施設、ヘルスセンター、コミュニティ広場等の創出	
地域の自然環境の保全	自然あふれる憩いの場の創出		①気仙川河川敷を活用したスポーツが楽しめる公園・グラウンドの整備 ②バーベキュー等のアウトドア活動対応設備の整備 ③ドッグランなどのペット対応施設の整備	里山環境再生のモデル的な位置づけ
子どもを取り巻く環境の充実	安全な通学環境		①通学路の安全性向上 ②見守り活動の継続	
	子育て環境の充実		①学童保育の開設 ②運営体制の確立	
コミュニティ活動の活性化	図書館機能を活かしたコミュニティ活動の推進		①図書館機能の存続へ向けた運営体制や仕組みの検討（地元主体） ②図書館活動を中心としたコミュニティ活動の活性化	
	自治会組織の再編等ニーズに応じた組織の検討		①一人暮らしの高齢者を集落で支える取り組み ②伝統行事やイベントの継続を支える取り組み ③三陸縦貫道による分断区域の行政区再編の検討	
安全で観光客にも便利な道路体系の確立	広域交通や観光活動を支える広域幹線道路の充実		①国道340号の改良整備（歩行者・自転車の安全性確保） ②国道340号と343号交差点の改良	国道横断の歩行者・自転車の安全性確保
	各集落を結び広域に連絡する幹線道路の整備・強化		①各集落の沢筋を横に連絡し、山側での広域避難・連絡機能を持つ骨格道路の確立（世田米方面から農道方面まで） ②農道の歩行者安全性の向上と国道340号交差点の渋滞改善	
	地区内主要道路の強化（避難動線を含む）		①既存道路の機能強化（拡幅整備・歩道整備等） ②集落から国道340号に出る交差点の改善（渋滞防止のレーン設定など） ③通学路の安全確保 ④観光振興ルートとしての道路整備を含む ⑤詠石橋の復旧と国道340号からのアクセス路の強化	
暮らしを支える交通の充実	バス等の公共交通の利便性向上		①BRTの利便性の向上（BRT竹駒駅の移設及びJR大船渡線旧陸前矢作駅間の専用道化） ②福祉タクシー等の導入の検討 ③産業拠点（農業・観光）や地域生活拠点へのアクセス、各施設間の移動など、地域の足となる交通手段（町内巡回バス、デマンド交通等）の検討	各施設主体の共同出資による送迎バス運行の検討を含む

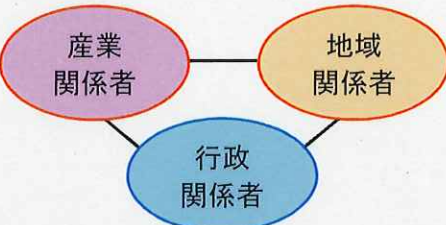
【防災性の向上】

分野	取り組み項目等	内容	備考
水害防止機能の強化	気仙川の水害防止機能の強化	①堤防のかさ上げ強化 ②流下能力向上のための河川敷内の整備（障害の除去・浚渫等）	
	各集落の排水・土砂災害対策の充実	①排水路の改善 ②側溝の整備・改善 ③土砂災害対策の強化	新規住宅開発に配慮した排水・土砂災害対策の必要性
緊急時の避難・防災体制の強化	避難場所の充実	竹駒地区コミュニティセンター等避難場所の防災設備強化	地域防災計画との整合
	避難路の確保	①国道340号に頼らずに山側で世田米方面へ避難できるルートの確保（再掲） ②新たな宅地開発に即した避難道路の確保	
	消防団機能の強化	①組織強化と支える支援の充実 ②消防屯所の機能強化（移築を含む）	
	防災情報の確実な提供	①防災無線の改善 ②避難誘導・防災情報表示設備の充実 ③ハザードマップ等の事前情報の周知	「メール配信システム」「電話応答サービス」等の個別情報伝達手段の活用 戸別受信機の貸出などの活用
防犯対策の強化	防犯灯の拡充	①山側の防犯灯の増設 ②通学路指定に配慮した防犯灯の設置 ③行政支援の充実	

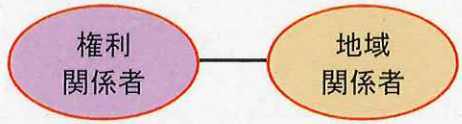
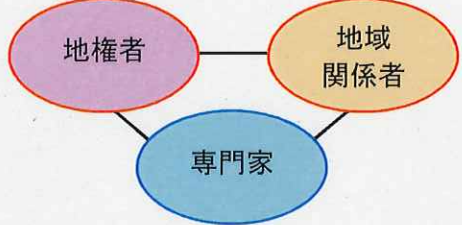
平成29年5月現在

【今後、当面の重点的な地域での取り組み】

(地域住民が主体となって自主的に取り組むべき方向性の提案)

今後取り組むべきプロジェクト	目的及び取り組み目標等	検討体制	検討のステップ
<p>1. 地域の魅力向上プロジェクト (地域資源を活かして人を呼びこむ)</p>	<p>■ 林業・農業を活かした産業振興</p> <p>① 山の資源を活かす観光振興のあり方の明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森林管理手法の検討 ・ 山の資源を活用した地場産業づくり (魅力づくり) ・ 産直施設のあり方 (ハード+ソフト) の明確化 <p>② 農業振興のあり方の明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組織化・法人化による営農継続・農地保全 ・ 荒廃農地を活用した取り組み ・ 新規就農者を受け入れる仕組みづくり <p>③ 沢筋の農村景観を活かしたグリーンツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の価値・魅力の確認・勉強会の開催 ・ 受け入れ農家づくりと受け入れ体制の確立 <p>■ 観光資源を活かした地域の活性化</p> <p>① 竹駒地区の観光振興のあり方の明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光資源の洗い出しとその価値・魅力の確認 ・ 観光資源を活かした観光振興計画づくり <p>② 拠点施設のあり方の明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前の集約的な拠点施設 (竹駒観光センター) に求められる役割・機能の明確化 (情報発信、各種受付、産直施設による地場製品の販売など) <p>③ 祭りや伝統芸能等の歴史・文化活動の継承</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の歴史・文化の継承に必要な施策のあり方の明確化 ・ 各種既存施設の充実 ・ 気仙大工・左官の伝統技能の継承・育成へ向けた具体的な取り組みの検討 (仮称里山ホテル公園の自力整備の中での休憩所・東屋等を気仙大工・左官の伝統技能を活かして作り出すなどの小さなもの作りを実現する) 	<p>地域の魅力向上による活性化を考える検討体制の立ち上げ</p>  <p>産業関係者メンバー (案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 林業関係者・製材事業所関係者 ・ 農業関係者・各種生産組合関係者 ・ 牧野採草地農業協同組合 ・ 観光関連各種施設関係者 <p>地域関係者メンバー (案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティ協議会 ・ 各種まちづくり活動団体 ・ 地元有志 <p>(必要に応じて各部門の専門家の招へい)</p>	<p>1. 検討体制の立ち上げ</p> <p>2. 将来像を検討する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地権者それぞれの意向や各種団体の意向を整理・把握 ・ 林業、農業に関する取り組みの検討 <p>3. 地権者や関係団体との総合調整</p> <p>4. 事業展開の組み立て</p> <p>1. 検討体制の立ち上げ</p> <p>2. 地域資源やその魅力を再発見・再認識する</p> <p>3. 拠点施設を核とした観光振興の展望や、地域資源それぞれの連携による地域活性化の方策の検討</p> <p>4. 試行イベントの検討・実施</p> <p>5. 拠点のあり方と事業展開の組み立て</p>

平成29年5月現在

今後取り組むべきプロジェクト	目的及び取り組み目標等	検討体制	検討のステップ
<p>2. 十日市場の将来を考えるプロジェクト (竹駒・矢作・横田地区の生活拠点化)</p>	<p>■竹駒・矢作・横田地区の生活拠点の形成（十日市場の活性化）</p> <p>①生活拠点としての将来像の明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商業・業務・サービス機能の存続 ・憩いの場、遊び空間、スポーツ施設の創出 ・医療・介護・福祉を核とした健康増進の取り組み促進 <p>②事業化のあり方と当面の調整方針の明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業手法や行政との連携方針 ・借地に関わる調整方針 <p>③不動産経営を含むタウンマネジメント体制の確立</p>	<p>十日市場地区の将来を考える検討体制の立ち上げ</p>  <p>権利関係者メンバー（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地権者（民間・公共） ・借地権者（工事関係・商業店舗関係） <p>地域関係者メンバー（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ協議会 ・各種まちづくり活動団体 ・地元有志 <p>（必要に応じて各部門の専門家の招へい）</p>	<p>1. 検討体制の立ち上げ</p> <p>2. 将来像を検討する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地権者それぞれの意向や地区としての意向を整理・把握 ・地域で不動産経営をするような視点で将来像を描く <p>3. 借地権者との総合調整</p> <p>4. 事業展開の組み立て</p>
<p>3. (仮称) 里山ホテル公園プロジェクト (里山環境再生へ向けたモデル事業)</p>	<p>■竹駒地区住民総参加による（仮称）里山ホテル公園づくり</p> <p>①公園のあり方の明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山環境に関する勉強会の実施 ・公園づくり構想の検討・作成 ・住民参加による環境再生への取り組みのプログラム化 <p>②住民の自主的な公園づくりの取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園づくり活動の実施・継続 ・気仙大工・左官の技能を持つ住民の参加による施設づくり（休憩所・東屋等） <p>③公園の有効活用と維持管理の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民参加のイベントや環境維持活動の推進 ・公園の運営体制・組織づくり 	<p>（仮称）里山ホテル公園づくり実行委員会の立ち上げ</p>  <p>地域関係者メンバー（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ協議会 ・各種まちづくり活動団体 ・地元有志 <p>（専門家は環境分野・計画づくり分野）</p>	<p>1. 実行委員会の立ち上げ</p> <p>2. 里山環境勉強会の開催</p> <p>3. 公園づくり構想の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園計画 ・実行計画プログラム（住民による自主的な整備） <p>4. 公園づくり活動の実施・継続</p> <p>5. 公園活用と維持管理活動</p>

平成29年5月現在